

学 校 名	山形市立大曽根小学校 山形市大字上反田 2 7 8 番地 6 4 3 - 2 1 3 4 FAX 6 4 5 - 8 6 1 4	校 長	浦 安 滉
		研究主任	鈴木 聡
主 題	夢を持ち、たくましさを発揮していく子どもの育成 — ふれあい、たいけん、まなびあいを通して —		
主 題 設 定 の 理 由	平成 1 5 年度の学校教育目標は、 「大曽根に誇りを持ち、たくましく未来を拓く子どもの育成」とし、具体的には、 1 . 思いやりを持ち、協力し合う子ども 2 . すすんで学習し、よく考える子ども 3 . 健康で、粘り強くやり抜く子ども と設定した。この目標を受け、課題を追究していく力、自分の言葉で発表する力をつけたいと考え、研究主題は「夢を持ち、たくましさを発揮していく子どもの育成」を継承した。それを具現化するために、「ふれあい、たいけん、まなびあいを通して」を副題として設定した。 「ふれあい」は、よりよい人間関係を形成する力にとらえ、少人数の中で生活しているために人間関係が固定化している子どもたちにとって、相手とのよい関わり方を知ることや、自分をうまく表現する力をつけることと言えよう。 「たいけん」については、学習材と関わる力にとらえ、実際の体験や経験を通して課題解決や目標達成に向けて取り組んでいるとき、子どもが自分の思いを大切に活動していくことと言えよう。 「まなびあい」については、学び方を習得する力にとらえ、友だちと自分の考え方を比べながら違いに気づいたり、自分の考え方のよさに気づいたりすることにより、一人一人が自己実現できるようになることと言えよう。 以上のような主題設定により、一人一人の感じ方を大切に、子どもたちの学習意欲を高める教育活動が可能であると考えられる。		
研 究 目 標	夢をもち、たくましさを発揮していく子どもを育成するための活動のあり方を研究していく。 子どもの姿を具体的に語り合う研究会（事例研究会）を積み重ねながら、子どもが主体的に活動する実践に取り組む。		
研 究 仮 説	<u>仮説 1</u> 課題に対する愛着（自分の思い）を大切にすることで、子どもの学習意欲を高めることができるであろう。 <u>仮説 2</u> 学びの姿に沿った支援をすることにより、主体的に活動する子どもが育つであろう。		

研究の内容	全校里芋学習に取り組むことで子どもの学びの姿を共有しながら研究し、児童理解を深める。 里芋の学習を切り口に、地域の学習材を教育活動にいかした研究に取り組む。 夢を持ち、たくましさを発揮していく子ども 研究全体会で事例研究 (児童理解研修) 視点に沿った、学年での 児童観察の記録 学年または、学年部ごとの里芋を 中心にした総合的な学習の時間 ふれあい、たいけん、まなびあい 子どもの 願いを いかした 学習活動 児童の 学びの姿 の見取り 学年 選択に よる授 業研 究
研究の方法	・ 全校里芋学習を通した子どもの学びの姿をもとにして、児童理解のための研究会を持つ。 ・ 里芋学習と子どもの出合わせ方について、縦割り班活動とのつながりを持ちながら研究を深める。 ・ 各学年に応じた研究テーマを設定し、授業研究を行う。
研究計画	(1学期)・研究主題・研究構想の検討・確認 ・児童の実態把握 ・授業研究会 (2学期)・授業研究会 ・児童の実態把握 ・研究集録の原案作成 (3学期)・研究の反省と来年の方向性 ・研究収録の発行 単元の初め～ ・ 全校里芋学習の成果の記録（事例研究会） ・ 各学年で個人研究テーマを設定し、児童の学びの姿を記録する。